

(四) 日比和一、矢部馬城生ヨリ

交々吾々ハ独自ノ立場ニ於テ直接社長ニ面接シ交渉ヲ進  
メタイト述べ

(三) 次ニ赤崎篤藏ヨリ

新旧海員組合ノ合同問題ノ経過ヲ報告シ今回トリタル

新旧両幹部ノ態度ノ「インキ」性ヲ暴露シ吾々トシテ  
ハ分裂ヲ期シテモ飽達合同ニハ反対ナリト結ブ

(二) 最後ニ郵船問題ニ關シテ種々協議ノ結果應援隊側トシテ

ハ一應郵船會社ノ追撃數ハ打切ルモ議會ニ於ケル逋信者  
、答弁(江藤源次郎代議士ニ對スル)ハ虚偽ナリトシ更

ニ逋信者ノ「インキ」ヲ暴露スル為メ明十日午前十時  
ヨリ更ニ委員會ヲ開キ之カ具體的協議ヲナスコトニ決定

散會ス

右及申(通)報候也

(別紙) 通表

昭和十一年二月八日

純正維新共同青年隊

昨日午後四時半より古時半に至る間郵船問題ト關シ本隊代表と  
大倉郵船社長との會見ハ右左の如し

三月八日本隊代表ニイ敷名、郵船本社訪問、三井虎堂、影山

正治兩名更に之と代表し郵船側々各社長及後邊副社長奥田

田海務課長、紀田海務課長、長谷川敏善、警備各立各の部

會見 本隊代表より本訪の趣旨及本問題に對する運動経過

等と述べるに明期會の諸君が蹴起せるに至りし真意、真精神

に就て説明せられた後、秘隊の主張、要求も根本的に關係して

種々折衝を盡したる結果社長は左の諸意見を明確に断言した

一 團體明確 皇座尊崇の主張に對しては左的に賛成であり自ら  
も進んで努力するあり、諸君の意の角る處は充分に感佩す  
所なる問題と惹起したる事に就ては上陛下に對し奉り文圖